

きらり 通信

令和2年3月19日(木)発行 第36号
福島県立須賀川支援学校
☎: 0248-76-2511
fax: 0248-72-4729
ホームページ <https://sukagawa-sh.fcs.ed.jp/>



福島県立須賀川支援学校

検索



『子どものミカタ』

校長 橋本 淳一

「濡れるからやめなさい!」「出しっ放しはダメ!」

ある子どもが水道の水を出しながら、手のひらでバシャバシャとはじいています。当然、大人は注意をします。でも、その子は、窓から差し込む光を受けたキラキラと輝く水の反射を楽しんでいたのです。

ときに子どもは、思わぬ発見をします。

私たち大人の基準では測ることのできない、すてきな力を持っているのかもしれませんが。

子どもとかかわる親、先生、医者。

子どもの「味方」はもちろん親、そして先生であるはずですが。医者は「診方」となるでしょうか。

私たち地域支援センター「きらり」は、子どもの「見方」のアドバイスをいたします。もちろん、子どもの「味方」を増やすために。

どうぞ遠慮なく、本校の地域支援センター「きらり」に御相談ください。

1年間をとおして

きらりでは次のことに取り組んできました。

- ①教育相談 ②研修支援
- ③高等部新入生出身中学校訪問 ④校内支援会議
- ⑤特別支援教育講演会
(県内の小・中・高・特支教員対象)
- ⑥児童発達支援・放課後等デイサービス事業所
訪問研修(本校進路指導部とのタイアップ)
- ⑦きらり学習会(本校教員対象)

また、昨年度に引き続き、岩瀬教育研究会部会へも参加し、教員としての専門性を磨く機会となりました。

次年度においても、本校教員の専門性の向上を目指すとともに、各関係機関とさらなる連携を図っていきたく思います。



(▶きらり学習会の様子)

教育相談・研修支援 実績報告

2月末まで、教育相談: 104件、研修支援: 5件を行いました。

今年度は、就学前の幼児についての相談や保健師さんとの同行訪問による相談支援を多く行いました。また、小学校や病弱支援学級へ訪問し、保護者さんを交えてのケース会議を開催しました。

きらり学習会 実施

本校スクールカウンセラー^{とみもり たかし}富森 崇先生を講師に「愛着障害について理解しよう②」~より良いコミュニケーションのために~の学習会を行いました。愛着障害は、その行動特徴が発達障害と似ている部分があるために、その違いが理解されず、適切な支援につながらないというお話を伺いました。私達教員が現場だからこそできる、よく似た行動からその違いを見つけるポイントを確認しました。

子どもの抱えている問題をきちんと把握し、その子に合った支援を今後行っていきたくと思います。



“きらり”の御利用

ありがとうございました

本校の校門を入れてすぐの右手側に“きらり”の相談室があります。

今年度も、多くの皆様に御利用いただきました。子どもたちの行動を、視点を変えて捉え直したり傾向を見つけたりすることで、新たなかわり方を見出すきっかけが生まれたように思います。

来年度も皆様が安心して相談できる“きらり”となるように努めてまいります。

今年度に引き続き、来年度もよろしくお願いたします。

